

続するとともに、農作業の負担軽減と持続的な酪農経営推進のため、各農業協同組合がコントラクター事業に用いる農業機械の導入を支援してまいります。

飼料自給率の向上については、道営草地整備事業の継続により、良質な粗飼料の安定確保に努めてまいります。

担い手対策については、新規就農希望者向けイベントへの出展や、町内小学校における酪農体験学習の実施など、農業協同組合や農業委員会、教育委員会と連携し、酪農の魅力を伝える場を設けてまいります。

家畜防疫については、厚岸町家畜自衛防疫協議会での予防注射や各種検査を支援するとともに、防疫対策の重要性を引き続き啓発してまいります。

町営牧場については、より適正な預託牛の育成・管理を図るため、作業環境の整備と飼養管理技術の向上に取り組むとともに、ふん尿処理の充実を図るため、処理施設の更新整備を行います。

鳥獣被害対策については、放牧地への電気柵設置を継続してまいります。

町有林の整備については、安定した事業量を確保し、林業就業者の雇用を図るとともに、持続可能な森林保全を推進するため、計画的な森林



施業を進めてまいります。

私有林の整備については、厚岸町森林組合と連携し、民有林振興対策事業と森林環境譲与税を活用した補助制度を継続してまいります。

担い手対策については、引き続き、森林整備担い手対策推進事業などを支援するほか、関係機関と連携し、林業就業者の育成・確保に努めてまいります。

町民の森植樹祭については、地域ぐるみの森づくり事業として、引き続き支援してまいります。

森林資源の利用については、堆肥センターの水分調整材等に町有林施業による林地残材を活用するほか、

木材チップを燃料とする木質バイオマスボイラーを温水プールへ導入いたします。

路網の整備については、道営事業により別寒辺牛2号線の整備を継続してまいります。

きのこ菌床センターについては、引き続き生産者を支援するため、良質で安価なきのこ菌床の安定供給に努めるとともに、種菌メーカーと連携して経営安定化に資する情報提供を行ってまいります。

また、新規生産者誘致については、しいたけ収穫体験の開催や地域生産者との連携による研修受け入れ体制の構築のほか、菌床の無償提供や生産施設用地の貸し付け等を継続してまいります。

生産者の組織化については、地域との定期的な懇談の場を設けるなど、必要な支援を行ってまいります。

商工業については、依然としてエネルギーや食料品価格等の物価高騰が続いていることから、引き続き商工業者の事業継続と町民の生活支援を図るため、第5弾となる『がんばろう厚岸応援券』を発行いたします。

中小企業の振興については、厚岸町商工会や金融機関と連携し、融資制度や設備投資への支援制度の活用を促進するための周知を行うなど、『厚岸町中小企業振興計画』に基づく各種取り組みを進めてまいります。

また、『特産品等開発支援制度』のさらなる利用促進を図り、ふるさと納税返礼品にも繋がる魅力ある特産品開発を支援するとともに、各種催事における特産品のPRを展開してまいります。

観光については、国内旅行や訪日外国人旅行がコロナ禍以前の状況に戻りつつある中、厚岸霧多布昆布森国定公園などの地域資源を活用した魅力ある観光地づくりを進めるため、『厚岸町観光振興計画』に基づき、厚岸観光協会や関係機関と連携し、自然や食、歴史・文化を活用した特色ある観光事業を展開してまいります。

また、令和6年度に予定されている道東自動車道阿寒インターチェンジから釧路西インターチェンジまでの開通に合わせた道東道延伸プロモーションを近隣市町村と共に実施してまいります。

厚岸味覚ターミナル・コンキリエについては、総合観光雑誌『北海道じゃらん』の道の駅ランキング・飲食部門において、全道127駅中、13年連続1位を獲得するなど、観光中核拠点施設としての役割を果たしてきました。来館者数や売り上げは、コロナ禍以前の状況に戻ってきていますが、物価高騰の影響は大きく、経営を圧迫していることから、引き続きマスメディアによる情報発信を行うほか、地場産品を活用した食の